

令和6年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計
課・室名 保健体育課 (単位:千円)

事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業開始年度	経過年数	令和7年度予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応												
					実行予算	補助金	その他				国庫	起債	その他特定財源	一般	拡充	継続	整理統合	縮減	休止	廃止	終期の見直し	完了	その他	見直し額			
子どもの目と歯の健康プロジェクト事業	継続	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画、元気な福井の健康づくり応援計画	○	○		H24	14	6,148				6,148				○									1,451
学校安全防災推進事業	継続	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画	○			H24	14	1,373	1,373							○									2,709
はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画	○			R5	3	2,104				2,104		○											
地域運動部活動体制整備事業	拡充	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画	○	○		R5	3	123,681	78,815			44,866	○												
中体連、高体連等主催競技大会における熱中症対策事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画		○		R6	2	6,455				6,455		○											
自転車安全利用推進事業	終了	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画、第11次福井県交通安全計画	○			R4	3												○						302
横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ~「横断アクション・ベロリン運動」の強化~	終了	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画、第11次福井県交通安全計画	○			R6	1												○						687
給食食材費高騰対策事業	終了	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R6	1												○						1,128
ふくい食育推進事業	新規	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○	○		R7	1	35,070	270			34,800													
						8	4			174,831	80,458			94,373	1	2		2			3						6,277

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/2、市町1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等		〔 福井県教育振興基本計画、元気な福井の健康づくり応援計 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均同様本県の視力1.0未満の児童生徒の割合も年々高くなっている。 ・全国平均に比べ本県の(処置歯を含む)むし歯のない児童生徒の割合が低い。 						<ul style="list-style-type: none"> ・視力1.0未満の小学生の割合(R6) 全国:36.8% 福井県:34.2% ・むし歯のない小学生の割合(R6) 全国:83.5% 福井県:79.3% 						
[事業目的]												
生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングにより視覚機能の改善を推進する。 正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○目の健康プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・目によい生活習慣を身につけるための「生活習慣チェックカード」の活用 ・「目の健康を守る3か条」運動、「目のリフレッシュタイム」「ビジョントレーニング」の実施 ○歯の健康プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・秋に歯科追加検診を実施し、状態観察とむし歯治療を勧告(市町への補助) 対 象:小学校1、4年生 補助率:県1/2、市町1/2 ・モデル校でフッ化物による洗口を実施 対 象:小学校1～6年生 												
[受益者] 小・中・特別支援学校の児童生徒						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 人生100年時代の歯の健口応援事業(健康政策課) (役割分担) 保健体育課:就学児童生徒 健康政策課:就学児童生徒以外					
市町との連携状況	小学1、4年生全員を対象に秋の歯科追加健診を実施					他県の状況	富山県:むし歯予防パーフェクト作戦事業 希望する市町村で小学生を対象にフッ化物洗口を実施					

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/2、市町1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,148					6,148						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,300	1,270	7,630	7,599	6,148	モデル校の実績による減					
2月現計予算額の推移		960	1,117	7,475	7,599							
決算額の推移		901	959	5,269								
前年度までの 主な増減理由	R3年度:対象児童数の減 R4年度:対象児童数の減 R5年度:フッ化物洗口の実施に伴う増 R6年度:対象児童数の減											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	視力1.0未満の小学生の割合(%)	(目標) (36.9) 実績 36.6	(37.9) 37.6	(37.8) 36.6	(36.8) 34.2	(36.8)	(36.8)	(36.8)	全国平均値を下回らないこと ※学校保健統計調査より抜粋			
	むし歯のない(処置者を含む)小学生の割合(%)	(目標) (81.6) 実績 75.9	(82.3) 75.5	(82.7) 78.0	(83.5) 79.3	(83.5)	(83.5)	(83.5)				
活動指標	保健指導実施率(%)	(目標) (100) 実績 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)	全児童に対して実施 受講者数/全児童数			
	目の健康に関する指導	(目標) (100) 実績 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R6成果指標は目については目標を達成、歯については未達成 R6活動指標は目・歯ともに目標を達成 (事業による要因) ・むし歯のない(処置者を含む)小学生の割合はプロジェクト開始以降概ね改善傾向にあるが、全国平均値を依然として下回っていることから、新たな取り組みが必要				・新たな取り組みとして実施しているモデル校でのフッ化物洗口を継続し、教員への負担が少ない実施方法の検証を進める				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 1,451	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 16 防災・治安先進県ふくいの実現 〕				関連する県の計画等	〔 福井県教育振興基本計画 〕						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>・大震災や台風・集中豪雨等による自然災害、登下校中の交通事故、不審者による犯罪被害など、子どもの安全を守るための対応がより一層必要である。</p>						<p>防災専門家のアドバイスを受け、危機管理マニュアルを見直した学校の割合 ・令和6年度末 100% (アドバイザー未派遣校 0%)</p>						
[事業目的]												
学校における実践的な避難訓練や児童生徒の交通安全教育、防災教育、防犯教育を充実することで、安全安心な学校生活の確保を図る。												
[事業内容]												
<p>○学校安全防災の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校防災アドバイザーや緊急地震速報システムを活用した避難訓練等を行うモデル地域を設定 ・モデル地域で構築された学校安全の推進体制を県内に普及し、全域で推進体制を構築、防災教育を推進する。(R7年度:7つのモデル地域を設定) <p>○学校安全教室の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員を対象に講習会を開催し、学校での防災・防犯・交通安全に対する意識向上等を図る。(R7年度:防災(自然・原子力災害)教室講習会を開催) 												
[受益者] 小・中・特別支援学校の児童生徒と教職員						[想定される受益者数] 約82,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	モデル地域(市町)を指定し、地域内の学校を対象に事業を実施					他県の状況	石川県・長野県:学校防災(安全)アドバイザーを派遣					

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,373	1,373				学校安全総合支援事業、学校安全教室推進事業						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			2,592	3,589	2,942	4,082	1,373	緊急地震速報装置設置校の減				
2月現計予算額の推移			2,043	2,558	2,792	3,495						
決算額の推移			1,736	2,042	2,475							
前年度までの 主な増減理由	R3年度:緊急地震速報装置設置予定校数の減 R4年度:モデル地区学校数の増 R5年度:市町委託費から消耗品費等事務費の減 R6年度:特定小型原付装置月自転車体験の実施による減 緊急地震速報装置の設置増											
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	学校防災アドバイザー 派遣済のモデル地域の 割合(%)	(目標)	(55)	(65)	(78)	(100)	(18)	(62)	(100)	R11年度までに全てのモデル地域へ派遣		
		実績	55	65	78	100						
活動指標	学校防災アドバイザー 派遣数	(目標)	(32)	(32)	(34)	(36)	(7)	(10)	(8)			
		実績	58	48	55	53						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
成果指標、活動指標ともに達成 (事業による成果) ・各モデル地域において避難訓練等を実践 ・学校防災アドバイザーを派遣(53校) ・モデル地域内の学校数により学校防災アドバイザー派遣数は 変動(R6年度に全ての学校への派遣を完了)				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,709	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> 運動をする児童としない児童の二極化が進んでいる。 コロナ禍で、児童の運動時間の減少により全国的な体力の低下がみられる。 						<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度小学生の1週間の総運動時間60分未満の割合 男子8.8% 女子14.4% 令和3年度体力テスト8項目中(5年生)男子7項目、女子5項目で過去最低を記録 						
[事業目的]												
設定された期間中に、学校の業間や昼休み、家庭等で取り組むことにより、児童の運動に親しむ資質の育成と体力の向上を図る。 タブレット端末を利用し、学校でも家庭でも自分の運動記録を入力できるようにすることにより、運動習慣の定着を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジランキング対象と期間 <ul style="list-style-type: none"> ・県内小学1年生～6年生(約38,000人) ・シーズンⅠ(4月～9月)、シーズンⅡ(10月～3月) ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ランキングコース、エンジョイコース、マイペースコース、みんなではぴはぴコースの4つのコースを設定 ・学校や家庭のタブレット端末から記録を入力 ・記録の入力をするとポイント(ハッピー)が付与され、貯めたポイントでホーム画面を自由にカスタマイズ ・個人の記録をシステム内で保存し、取り組みの成果と軌跡を確認 ○運営 <ul style="list-style-type: none"> ・契約業者にデータ管理・システム補修点検を依頼 ・管理者アカウント(県・市町・学校)で、情報把握 												
[受益者] 県内の小学生						[想定される受益者数] 約38,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県「スポチャレいしかわ」 富山県「きときとチャレンジランキング」 ※クラス・学校・グループ単位で登録し、最高記録を入力するもの					

はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	実行予算									R5 年度			経過年数
補助率	—									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,104				2,104								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			10,853	2,104	2,104								
2月現計予算額の推移			10,358	2,104									
決算額の推移			10,340										
前年度までの主な増減理由	R5年度:システム構築 → システム保守移行のため												
[成果指標等の推移]													
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	小学5年生の1週間の総運動時間(分) (目標) 実績			— (男648,女406) — 男569,女369	(男648,女406)	(男648,女406)	(男648,女406)	(男648,女406)	コロナ禍前の数値を上回ること ※H30運動習慣等調査より抜粋 R5はシステム構築のため目標・実績なし				
	小学5年生の1週間の総運動時間が60分未満の割合(分) (目標) 実績			— (男5.9,女10.6) — 男8.9,女14.8	(男5.9,女10.6)	(男5.9,女10.6)	(男5.9,女10.6)	(男5.9,女10.6)	コロナ禍前の数値を下回ること ※H30運動習慣等調査より抜粋 R5はシステム構築のため目標・実績なし				
活動指標	県内児童の参加(%) (目標) 実績			— (100) — 98	(100)	(100)	(100)	(100)	全ての小学生対象に実施 ※児童生徒の登録率 ※R5はシステム構築のため目標・実績なし				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
成果指標、活動指標ともに未達成 (事業による要因) ・指標となる運動習慣等調査の集計時点が7月末時点であり、システムの運用を開始した4月から期間がなかったため				授業等への活用を積極的に推進し、参加率の向上およびシステム利用の習慣化を目指し活動を継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

中体連、高体連等主催競技大会における熱中症対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・上位大会・学校行事等により暑さが厳しい時期に大会を実施せざるを得ない。 ・各連盟単独では費用面から十分な対策を講じることが難しい。 						県中体連・高体連・高野連主催競技大会における熱中症疑いによる救急搬送状況 ・令和6年度:中学校夏季大会(7月)1件						
[事業目的]												
近年気温が上昇する中でも開催される中体連・高体連・高野連の主催大会において、大会に参加する中高生が安心して競技に臨むことができる環境を整備する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○中体連、高体連および高野連主催大会における熱中症対策の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ミストファンやスポットクーラー等の借用・設置 ・直射日光を避けるために増設するテントの借用・設置 ・重症化リスク軽減のための看護師の派遣、経口補水液の常備及び製氷機の借用・設置 ○福井県中学校夏季総合競技大会(7月開催) <ul style="list-style-type: none"> ・対象競技:全17競技 ○北信越中学校総合競技大会(8月開催)※5年に1度、次回令和12年度 <ul style="list-style-type: none"> ・対象競技:全16競技 ○福井県高等学校新人大会(9月開催) <ul style="list-style-type: none"> ・対象競技:陸上競技・水泳・テニス・ヨット・ボート・登山・カヌー(7競技) ○北信越高等学校体育大会(8月開催) <ul style="list-style-type: none"> ・対象競技:水泳(競泳、水球) ○高等学校野球選手権大会福井大会(7月開催) ○北信越地区高等学校野球福井大会(9月開催) 												
[受益者] 県内の中学生、高等学校生						[想定される受益者数] 約42,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県、石川県、新潟県、長野県 ・いずれの県においても7月～9月に大会を実施					

中体連、高体連等主催競技大会における熱中症対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,455				6,455							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						4,388	6,455	7～9月に対象となる連盟主催大会が増えるため ・北信越中学校総合競技大会(中体連主催) ※5年に1度、次回令和12年 ・北信越高等学校体育大会(高体連主催) ※5年に1度、次回令和12年				
2月現計予算額の推移						3,145						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	対象競技での熱中症発生率(%)	(目標) 実績				(0.38) (0.29)	(0.38)	(0.38)	(0.38)	熱中症発生率を当該事業実施前の半分以下とする。 ※R5:0.76%(対象競技の熱中症発生数/対象競技の参加数)		
活動指標	熱中症対策実施競技数	(目標) 実績				(25) 25	(44)	(44)	(44)	対象となるすべての競技で対策を実施		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
成果指標、活動指標ともに達成 (事業による成果) ・設備面での熱中症防止の対応強化により、罹患者を減少 ・熱中症罹患者への対応体制の整備により、重症化を防ぎ、 救急搬送数を減少				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

地域運動部活動体制整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/2、市町1/2(一部 国)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進]	関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針である部活動地域移行を進めるにあたっては、指導者確保、地域クラブとしての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など課題が多い。 						<ul style="list-style-type: none"> ・担当する部活動の競技経験がない教員 中学校26.9%(R3日本スポーツ協会調査) ・地域との連携がない運動部活動 中学校73.7%(") 						
[事業目的]												
<p>令和5年度以降の休日の運動部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、スポーツ団体等の整備充実、指導者確保、参加費用負担への支援等を総合的に推進し、地域において持続可能な中学生のスポーツ活動の機会を確保することを目的とする。</p>												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーター配置支援等体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・県に総括コーディネーターを配置し、市町を越えた困難な課題に対応する。 ・市町に関係者との連絡調整・指導助言等を行う総括コーディネーターを配置する。 ・各地域の協議会設置等の地域移行に向けた体制を構築する。(事務局運営費) ・地域スポーツ活動の運営団体と中学校との連絡調整・安全管理、指導者派遣管理等を行うコーディネーターを配置する。 ○運営団体・実施主体の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ活動の運営団体の整備充実のため、活動に必要な事務局員の人件費等について支援する。 ○指導者配置支援等体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・休日の地域スポーツ活動において、実技指導を行う指導者を配置する。 ○参加費用負担の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困窮する世帯の子どもが地域スポーツクラブ活動に参加できなくなるよう、地域移行に伴い新たに必要となる会費等についての支援を行う。 ○指導者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ活動を安全で適切に行うため、地域の指導者向けに研修会を開催する。 												
[受益者] 運動部活動に参加する生徒						[想定される受益者数] 約13,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業 (実績) [令和3年度] 県内モデル地域(鯖江・美浜)において実践研究を実施 [令和4年度] 県内モデル地域(福井・大野・鯖江・美浜)において実践研究を実施					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域文化活動体制整備事業(義務教育課) (役割分担) 保健体育課:運動部活動の地域移行を推進 義務教育課:文化部活動の地域移行を推進				
市町との連携状況	受け皿となる地域団体や指導者の確保、コーディネーターの配置など体制を整備する。					他県の状況		国の方針を受け、全都道府県が休日の運動部活動の地域移行への取組みを行う。				

地域運動部活動体制整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/2、市町1/2(一部 国)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	123,681	78,815			44,866	地域スポーツクラブ活動体制整備事業						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					36,012	72,445	123,681	・地域に移行する部活動数の増 ・県総括コーディネーター配置による増				
2月現計予算額の推移					34,331	55,552						
決算額の推移					30,340							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	休日の活動を地域に移 行した部活動数(部活)	(目標) 実績			(152) 176	(338) 338	(675)	—	(675)	R7年度未までにすべての中学校の休日運動部活動を対象地域に移行 (約675部活動)		
活動指標	地域移行に取り組む市 町数(市町)	(目標) 実績			(14) 17	(17) 17	(17)	—	(17)	県内17市町		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
成果指標、活動指標ともに達成 (事業による成果) ・R6年度には県内17市町で運動部活動の地域移行の取組みに 着手し、着実に部活動の地域移行を実施 ・R6年度未までに約50%の休日部活動が地域に移行				—				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

自転車安全利用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]				関連する県の計画等	[福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例 福井県教育振興基本計画、福井県交通安全計画 福井県自転車活用推進計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・「福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例」において、自転車乗車時の安全利用が努力義務化 ・並走やながら運転など、高校生の自転車乗車マナーについて指摘あり 						指導警告票交付数における高校生の割合 48.3%(令和6年度)						
[事業目的]												
県内高校生、特別支援学校生の自転車乗車時の安全利用を普及・啓発するとともに、学校における関係機関との連携体制を構築し、交通安全に係る取り組みの継続を目指す。												
[事業内容]												
<p>○県内の高等学校および特別支援学校を対象に自転車安全利用推進事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自転車教室の開催 ・警察による登下校時の街頭指導 ・交通安全教材の作成 												
[受益者] 県内の高等学校生、特別支援学校生						[想定される受益者数] 約21,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自転車安全利用推進事業(県民安全課) (役割分担) 条例の周知、保険総合窓口の開設、高齢者向け自転車教室の開催等					
市町との連携状況						他県の状況						

自転車安全利用推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額																
[予算額の推移等] (単位:千円)																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			420	322	302											
2月現計予算額の推移			420	322	302											
決算額の推移			302	302												
前年度までの 主な増減理由	R5年度:見本品ヘルメットの購入分の減 R6年度:計画による実施予定校数の減															
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	警察と連携した交通安全に係る取り組みを継続する学校数 (目標) 実績		(15) 13	(29) 28	(42) 42		(42)	(42)	R6年度に100%							
活動指標	警察と連携した交通安全に係る取り組みを行った学校数 (目標) 実績		(15) 13	(29) 28	(42) 42		(42)	(42)								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
成果指標、活動指標ともに達成 (事業による成果) ・自転車安全教室または交通安全教室を実施した学校数:14校				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	302					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

給食食材費高騰対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進]					関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・食材費の高騰により提供できる給食の質と量に支障が出る可能性がある。 ・また、給食費の値上げにより、家庭への負担が大きくなってきている。 						全国消費者物価指数(総務省) … コメ類 前年度比44.7%増						
[事業目的]												
主食を中心とした急激な食材費の上昇に対応するため、給食食材費に対する支援を行うことにより、保護者負担増を回避しつつ給食の質と量を確保する。												
[事業内容]												
○県立中学・夜間定時制高等学校・特別支援学校に対し、食材費の値上がり分相当額(15.8円)を負担												
[受益者] 県立中学・夜間定時制高等学校・特別支援学校の生徒						[想定される受益者数] 約2,000人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 給食食材費高騰対策事業 (実績) 支援額 13,596,000円 対象校 県立中学・夜間定時制高等学校・特別支援学校				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 給食食材費高騰対策事業(児童家庭課) (役割分担) 保健体育課:県立中学・夜間定時制高等学校・特別支援学校 児童家庭課:私立保育所、認定こども園、幼稚園				
市町との連携状況						他県の状況		多くの都道府県において、地方創生臨時交付金を活用し、食材費の支援や保護者負担減(給食費減額)などの支援・補助を実施				

給食食材費高騰対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務				事業 区分			R6 年度 経過年数
補助率	—					1 年							
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					1,128								
2月現計予算額の推移					1,128								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								給食の量・栄養価の確保を目的としており定量的評価は困難				
活動指標	支援する学校数(校) (目標) 実績				(11) 11				県立中学・夜間定時制高等学校・特別支援学校				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
活動指標を達成 (事業による成果) ・従来どおりの質や量を維持した給食を提供 ※国の地方創生臨時交付金の終了に伴い事業を終了				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,128		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ～「横断アクション・ペコリン運動」の強化～

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 16 防災・治安先進県ふくいの実現 〕				関連する県の計画等	〔 福井県教育振興基本計画、第11次福井県交通安全計画 〕						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・福井県においては、信号機のない横断歩道での車の停止率が低い。 ・横断歩道の横断時にあいさつをする児童・生徒が少ない。 						信号機のない横断歩道停止率調査における福井県の停止率(R5) 26.7% ※前年度比△5.0%、全国ワースト3位						
[事業目的]												
各小中学校において、横断歩道を渡る際のあいさつ等について重点的な指導を新たに行い、歩行者側の事故リスクの低減を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○学校と警察の連携による指導 <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に対し、信号機のない横断歩道において、学校と警察による横断後の重点的なあいさつ指導を行う ・季節ごとの交通安全県民運動の期間に合わせて、期間ごとに15校程度を選定 ※年間50校程度を想定、5年間で県内小中学校全269校で活動を実施 ○各学校における継続した啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「横断アクション・ペコリン運動」を啓発する内容のCDを制作、各学校に送付し業間等に校内放送で呼びかけ ・県民安全課で制作した動画を交通安全指導や交通安全教育を行う際に活用 												
[受益者] 小・中学校の児童生徒						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	信号機のない横断歩道停止率調査(令和6年度) 石川県:80.9%(2位) 富山県:31.6%(47位) 長野県:87.0%(1位) ※運転者へのアイコンタクト、お辞儀を奨励					

横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ～「横断アクション・ペコリン運動」の強化～

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務				R6 年度		
補助率	—									1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						687						
2月現計予算額の推移						224						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	横断歩道停止率(%)	(目標) 実績				(53.0) 34.7	(53.0)	(53.0)	(53.0)	R8年度までに全国平均を上回る ※一般社団法人日本自動車連盟調査より抜粋		
活動指標	取組みを実施した学校数	(目標) 実績				(269) 269	(269)	(269)	(269)	全ての学校において取組みを実施		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
活動指標については達成 成果指標については未達成 (事業による要因) ・事業計画によりR8年度までに全国平均を上回る事を目標としているため 横断歩道停止率は改善傾向にある ※R7年度以降はゼロ予算で取組みを継続				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 見直し額	687			
								<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他				

ふくいの食育推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 個性を伸ばす(人材力)] 政策 [1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題を抱える児童・生徒に対し、十分な対応ができていない。 ・地場産物を活用した食に関する指導の回数が少ない。 						<ul style="list-style-type: none"> ・肥満、痩身児童生徒の個別指導割合(R4) 16.0%(給食施設状況調査 等) ・地場産物を活用した食に関する指導回数(R5) 福井県 7.8回(栄養教諭聞取) <li style="text-align: right;">(R4) 全 国 10.5回(国アンケート) 						
[事業目的]												
児童生徒の健康課題の解決を図るとともに、ふるさとの歴史や文化等を学ぶ「食育」を推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○食育による健康課題対策支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な取組みについて学ぶ研修会を実施 ・WGを立ち上げ、健康指導についての調査研究を実施 ○地場産食材による「食育」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に地場産食材を使用した副食の追加(プラスワン給食)を実施する市町に補助 ・各学校において「食育」を実施(隔月1回※) ※市町独自の地場産給食1回実施につき1回の事業活用が可能(県、市町で年間12回の事業実施を想定) 												
[受益者] 学校給食を利用する県立小中学校の児童生徒						[想定される受益者数] 約58,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県:教育委員会としての補助なし 富山県:教育委員会としての補助なし ※地場産への補助は農林水産部局と給食会が連携して実施					

ふくいの食育推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	松枝 範恭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	35,070	270			34,800	食に関する健康課題対策支援事業						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						35,070						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	地場産物には何があるか知っている児童生徒の割合(%) (目標) 実績					(80)	(85)	(90)	食に関するアンケート調査より			
活動指標	地場産給食を活用した食育を毎月実施した市町 (目標) 実績					(17)	(17)	(17)	全市町での実施を目標とする			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他				